

設 置 計 画 の 概 要

							事前伺い				
大学の名称	信州大学				計画の区分		学部の学科設置				
新設学部等の状況 (学年進行終了時における状況)											
学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員			
					学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授	
工学部	土木工学科	45	3年次2	184	学士(工学)	工学関係	平成20年度	社会開発工学科	13	5	
	建築学科	50	3年次2	204	学士(工学)	工学関係	平成20年度	社会開発工学科	13	5	
既設学部等の状況 (現在の状況)											
学部の名称	学科の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員			
					学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授	
工学部	社会開発工学科(廃止)	95	3年次20	380	学士(工学)	工学関係	平成元年度	土木工学科	13	5	
								建築学科	5	5	
									退職		
		機械システム工学科		80	320	学士(工学)	工学関係	平成10年度	機械システム工学科	18	9
									退職	4	4
	電気電子工学科	95	380	学士(工学)	工学関係	平成元年度	電気電子工学科	22	11		
								退職	6	4	
	物質工学科	60	240	学士(工学)	工学関係	平成10年度	物質工学科	16	7		
								退職	3	3	
	情報工学科	90	360	学士(工学)	工学関係	平成元年度	情報工学科	28	11		
								退職	3	3	
	環境機能工学科	50	200	学士(工学)	工学関係	平成10年度	環境機能工学科	12	6		
								退職	2	2	

【備考欄】  
専任教員欄の教授数は、新設学科等の学年進行終了時における状況であり、既設学科の教育課程等の概要中、専任教員等配置欄の教授数は、現在の状況であるため、双方は一致しません。

## 教育課程等の概要

(工学部土木工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)														・Aの中から 2単位選択必修
	環境の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	環境と社会	1・2・3・4		2		○									
	環境と技術	1・2・3・4		2		○									
	(B. 精神と文化)														
	思想と表現	1・2・3・4		2		○									
	言語と文化の諸相	1・2・3・4		2		○									
	(C. 世界と地域)														
	国際社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	日本社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	歴史と現代社会	1・2・3・4		2		○									
	(D. 生命と物質)														
	人間の生と行動	1・2・3・4		2		○									
	動物と植物	1・2・3・4		2		○									
	物質の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
地球と宇宙	1・2・3・4		2		○										
(E. 知の継承と発展)															
人文・社会科学の世界	1・2・3・4		2		○										
教理の世界	1・2・3・4		2		○										
学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2		○										
小計 (15科目)		—		30		—									
基礎科目	目外国語科														
	英語	1	4			○									
	英語	2	4				○								
	小計 (2科目)	—	8			—									
	科科健康														
	キャンパスライフと健康	1	1			○									
	小計 (1科目)	—	1			—									
	科情報														
	情報科目	1	2			○									
	小計 (1科目)	—	2			—									
	科ナゼ新														
	ミミ入														
ル生															
新生ゼミナール	1	2				○		5	5		3				
小計 (1科目)	—	2			—			5	5		3				
基礎科学科目	微分積分学	1	4			○									
	線形代数学	1	2			○									
	線形代数学	2	2			○									
	物理学 (力学)	1	2			○									
	物理学 (電磁気学)	2	2			○									
	物理学実験	1	2								○				
	化学	1	2			○						○			
	化学実験	1	2									○			
	生物学	1	4			○							○		
	生物学実験	1	2										○		
	地学概論	1	4			○									
	地学実験	1	2										○		
小計 (12科目)	—	10	20		—										
日本語科目	日本語	1・2・3・4		6		○									留学生対象：14 単位までを教養 科目に振替可
	日本語事情	1・2・3・4		12		○									
	小計 (2科目)	—		18		—									
専門科目	応用数学Ⅰ	2	2			○									
	応用数学Ⅱ	2	2			○									
	応用数学Ⅲ	3	2			○									
	確率・統計	2	2			○									
	解析力学	2	2			○									
	基礎物理学	2	2			○			1						
	基礎数学	2	2			○				1					
	地域の分析と計画	2	2			○									
	地域の分析と計画演習	2	1				○					1			

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	構造力学Ⅰ	2	2			○			1						
	構造力学Ⅱ	2		2		○				1					
	構造力学Ⅰ演習	2	1				○					1			
	基礎水理学	2	2			○				1					
	応用水理学	2		2		○				1					
	基礎水理学演習	2	1				○						1		
	土の力学	2	2			○			1						
	地盤の力学	2		2		○				1					
	土の力学演習	2	1				○						1		
	社会資本計画学	2		2		○			1						
	卒業研究	4	10				○			5	5		3		
	社会環境工学	1	2			○			5	5			3		
	土質・水環境実験	3		1					2	2			1		
	コンクリート・構造実験	3		1					1				1		
	建設構造物設計製図Ⅰ	3	1						1				1		
	建設構造物設計製図Ⅱ	4	1						1						
	構造設計学	3		2		○			1						
	地震工学	3		2		○			1						
	橋梁工学	3		2		○			1						
	河川工学	3		2		○					1				
	上下水道工学	3		2		○					1				
	地水環境工学Ⅰ	2	2			○			1						
	地盤工学	3		2		○					1				
	都市・地域環境計画	2	2			○			1						
	空間情報学	2	2			○			1						
	景観分析論	3		2		○					1				
	交通計画	3		2		○					1				
	交通システム論	3		2		○					1				
	建設マネジメント	4		2		○			1	2					
	コンクリート工学Ⅰ	3		2		○			1						
	コンクリート工学Ⅱ	3		2		○			1						
	環境生態工学	4		2		○					1				
	地圏環境学	3		2		○					1				
	数値計算法	3		2		○					1				
	地水環境工学Ⅱ	3		2		○			1						
	環境保全工学	2	2			○					1				
	海岸・湖沼工学	3		2		○					1				
	防災システム論	4		2		○			2	1					
	特別演習Ⅰ	3		1				○	1	2			3		
	特別演習Ⅱ	3		1				○	1	2			3		
	総合演習	3	1					○	1	2			3		
	空間情報実習	3		1					1	1			1		
	地域計画	3		2		○									
	応用統計学	3・4		2		○									
	量子物理	2・3・4		2		○									
	物理学実験	2・3・4		1							○				
	特許実務概論	3・4		2		○									
経営工学第1	4		2		○										
経営工学第2	4		2		○										
労働安全	2・3・4		2		○										
環境マネジメントシステム	2・3・4		2		○										
環境内部監査実務	2・3・4		2		○										
学外特別実習	2・3・4		2							○					
ボランティア特別実習第1	2・3・4		1							○					
ボランティア特別実習第2	2・3・4		1							○					
学外特別講義第1	2・3・4		2		○										
学外特別講義第2	2・3・4		2		○										
学外特別講義第3	2・3・4		2		○										
小計 (67科目)	—	—	39	88				—	5	5		3			
合計 (101科目)	—	—	60	158				—	5	5		3			

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係	
設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性				
<p><b>I 設置の趣旨・必要性</b>  現在の社会開発工学科における建設系教育は、土木系と建築系が学問知識の基盤を同じくする領域を有することに着目し、融合的な知識の付与を目的としたものである。しかし昨今、技術の進展が著しい土木及び建築のものづくり現場では、より高度で細分化された専門知識を持つ技術者が必要とされている。この社会的な要請に応えるためには、大学における土木系教育と建築系教育の専門性の高度化を図る必要がある。</p> <p>また、国際的な観点からは、土木系と建築系が、シビル・エンジニアリングとアーキテクチャに分かれ、別々の教育を展開することが一般的である。我が国においても土木系と建築系の別カリキュラムの教育を実施し、JABEE認定などを取得し、本学の教育内容を国際標準に合致させる必要がある。</p> <p>さらに今後、技術の進展に対応するリカレント教育が求められることから、大学の対応窓口と教育・研究の内実をわかりやすく提示し、社会の一般通念である土木系と建築の技術分野に分けた教育体制とする必要がある。</p> <p>以上のような理由から、従来の社会開発工学科における土木系・建築系のコース制教育を廃止し、土木系の学科と建築系の学科として、別々の専門性に特化した教育体制とすることが急務である。</p>				
<p><b>II 教育課程編成の考え方・特色</b>  (1) 教育課程編成の考え方  ① 工学部の理念と目的を基本として、土木分野において広範な総合能力を發揮できる十分な基礎力と確実な専門知識を修得させ、さらに専門的研究を行うための基礎能力を養う。  ② 土木工学の専門領域を体系的に学習させ、土木技術者としての基礎能力を養う。  ③ 総合的な問題解決能力とコミュニケーション能力を養う。  ④ 土木技術者としての果たすべき役割と倫理観を養う。  ⑤ 自然環境との共生を計画し、社会基盤の整備と災害を予防する方法論を修得し、実践できる技術者を育成する。</p> <p>(2) 教育課程編成の特色  ① 土木工学の基礎的な学力をしっかりとし身につけた、応用力と総合的な問題解決能力を備えた技術者の養成を目指したカリキュラムを編成している。  ② 土木工学の専門基礎科目、ならびに自然科学や社会科学、情報科学などの基礎科目を修得した後、専門応用科目として、1) 災害に強いインフラ作り(社会基盤分野)、2) 自然環境との共生を図る(環境分野)、3) 人にやさしいまちづくり(地域計画分野)の3分野を修得、さらにそれらを総合的に学ぶ総合科目を修得するよう体系的なカリキュラムを編成している。  ③ 土木工学全般の問題をグループ討論、ディベート、発表会などを通して種々の視点から検討し、自ら深く考えることにより土木技術者として不可欠な「物事の幅広い見方」を養い、総合的な問題解決能力とコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>また、以上で修得した技術や方法論を実践する場として卒業研究がある。  ④ 自然環境との共生と自然災害とその予防への関心を高め、専門知識の修得を図るため、大学の所在地である長野県に特徴的な急峻な地形と厳しい気候条件に起因する種々の自然災害と社会基盤整備上の問題を教材とする。また、実験・実習・フィールドワークを通して地域計画・地域特性を学び、地域連携を図る。  ⑤ 環境問題や安全への洞察力を備え、環境・減災技術の素養を持った技術者を養成するため、環境と減災関係科目を充実させている。  ⑥ 土木工学とその周辺の基礎と応用科目を学ぶ中で、また、卒業研究を通じて技術者としての倫理感を身につけ、信頼される技術者を養成する。そのための科目として、ゼミナールや総合演習も用意されている。  ⑦ 大学院修士課程における特別実験・演習に対応できる高度な学力・応用力および総合的な問題解決能力を身につけた技術者の養成を目指している。</p>				
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法			授 業 期 間 等	
○修業年限 4年 ○卒業に必要な単位数 124単位（共通教育科目37単位、専門科目87単位） ・共通教育科目内訳 教養科目 14単位 外国語科目 8単位 健康科学科目 1単位 新入生ゼミナール科目 2単位 基礎科学科目 12単位 ・専門科目内訳 必修39単位（卒業研究10単位を含む） 選択48単位			1 学年の学期区分	2 期
			1 学期の授業期間	15 週
			1 時限の授業時間	90 分

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(工学部建築学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	教養科目 (A. 環境と人間) 環境の構造と動態 環境と社会 環境と技術 (B. 精神と文化) 思想と表現 言語と文化の諸相 (C. 世界と地域) 国際社会の構造と動態 日本社会の構造と動態 歴史と現代社会 (D. 生命と物質) 人間の生と行動 動物と植物 物質の構造と動態 地球と宇宙 (E. 知の継承と発展) 人文・社会科学の世界 数理の世界 学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2		○									・Aの中から2単位選択必修	
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
		1・2・3・4		2		○										
			小計 (15科目)	—		30			—							
基礎科目	外国語科目	英語	1	4		○										
		英語	2	4			○									
		小計 (2科目)	—	8			—									
	学健康科目	キャンパスライフと健康	1	1		○										
		小計 (1科目)	—	1			—									
	情報科目	情報科目	1	2		○										
		小計 (1科目)	—	2			—									
	新入生	新入生ゼミナール	1	2			○		5	5			3			
		小計 (1科目)	—	2			—		5	5			3			
	基礎科学科目	微分積分学	1	4		○										
		線形代数学	1	2		○										
		線形代数学	2	2		○										
物理学 (力学)		1	2		○											
物理学 (電磁気学)		2	2		○											
物理学実験		1	2									○				
化学		1	2		○											
化学実験		1	2									○				
生物学		1	4		○											
生物学実験		1	2									○				
地学概論		1	4		○											
地学実験		1	2									○				
小計 (12科目)	—	10	20			—										
日本語・日本事情	日本語	1・2・3・4		6		○								留学生対象：14単位までを教養科目に振替可		
	日本事情	1・2・3・4		12		○										
	小計 (2科目)	—		18			—									
専門科目	応用数学 I	2	2			○										
	確率・統計	2	2			○										
	応用数学 II	2	2			○										
	応用数学 III	3	2			○										
	解析力学	2	2			○										
	建築構造力学第 1	2	2			○		1								
	建築構造力学第 2	2	2			○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築構造力学第1演習	2	1					○		1	1				
	建築構造力学第2演習	2	1					○		1	1				
	建築材料力学	2	2			○				1					
	鉄筋コンクリート構造	3	2			○				1	1				
	鋼構造	3	2			○				1					
	建築地盤工学	3		2		○					1				
	建築環境工学第1	2	2			○				1					
	建築環境工学第2	2	2			○					1				
	建築設備第1	2	2			○				1					
	建築設備第2	3	2			○				1					
	音響設計	3	2			○				1					
	都市環境工学	3	2			○				1					
	建築計画第1	2	2			○					1				
	建築史第1	2	2			○				1					
	建築保存再生論	3	2			○				1					
	建築設計製図第1	2	2						○	1	2		1		
	建築設計製図第2	2	2						○	1	2		1		
	建築設計製図第3	3	2						○	2	1		1		
	建築設計製図第4	3	2						○	2	1		1		
	卒業研究	4	10					○		5	5		3		
	都市と建築	1	2			○				5	5		3		
	木質構造	2		2		○					1				
	建築構造材料実験	3		1					○	1	2		1		
	防災工学	3		2		○					1				
	建築構造設計	3		2				○		1					
	振動学	3	2			○					1				
	建築環境工学演習	2		1				○			1		1		
	建築設備演習	2		1				○		1			1		
	都市・地域環境計測	3	2			○					1				
	都市環境工学演習	3	1					○		1			1		
	建築情報工学	2	2			○					1				
	建築環境工学実験	3	1						○	2	1		1		
	建築デザイン論	2	2			○					1				
	建築計画第2	3	2			○				1					
	建築史第2	2	2			○					1				
	地域計画	3	2			○					1				
	建築設計製図第5	4	2						○	2	1		1		
	建築法規	3・4	2			○					1				
	建築施工学	3・4	2			○					1				
	地圏環境学	3	2			○									
	地水環境工学I	4	2			○									
	応用統計学	3・4	2			○									
	量子物理	2・3・4	2			○									
	物理学実験	2・3・4	1						○						
	経営工学第1	4	2			○									
	経営工学第2	4	2			○									
	特許実務概論	3・4	2			○									
	労働安全	2・3・4	2			○									
	環境マネジメントシステム	2・3・4	2			○									
	環境内部監査実務	2・3・4	2			○									
	学外特別実習	2・3・4	1						○						
	ボランティア特別実習1	2・3・4	1						○						
	ボランティア特別実習2	2・3・4	1						○						
	学外特別講義第1	2・3・4	2			○									
	学外特別講義第2	2・3・4	2			○									
	学外特別講義第3	2・3・4	2			○									
	小計 (63科目)		—	56	67				—	5	5		3		
	合計 (97科目)		—	77	137				—	5	5		3		

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係	
設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性				
<p><b>I 設置の趣旨・必要性</b>  現在の社会開発工学科における建設系教育は、土木系と建築系が学問知識の基盤を同じくする領域を有することに着目し、融合的な知識の付与を目的としたものである。しかし昨今、技術の進展が著しい土木及び建築のものづくり現場では、より高度で細分化された専門知識を持つ技術者が必要とされている。この社会的な要請に応えるためには、大学における土木系教育と建築系教育の専門性の高度化を図る必要がある。  また、国際的な観点からは、土木系と建築系が、シビル・エンジニアリングとアーキテクチャに分かれ、別々の教育を展開することが一般的である。我が国においても土木系と建築系の別カリキュラムの教育を実施し、JABEE認定などを取得し、本学の教育内容を国際標準に合致させる必要がある。  さらに今後、技術の進展に対応するリカレント教育が求められることから、大学の対応窓口と教育・研究の内実をわかりやすく提示し、社会の一般通念である土木系と建築の技術分野に分けた教育体制とする必要がある。  以上のような理由から、従来の社会開発工学科における土木系・建築系のコース制教育を廃止し、土木系の学科と建築系の学科として、別々の専門性に特化した教育体制とすることが急務である。</p> <p><b>II 教育課程編成の考え方・特色</b>  （1）教育課程編成の考え方  ①工学部の理念と目的を基本として、建築分野において広範な総合能力を発揮できる十分な基礎力と確実な専門知識を修得させ、さらに専門的研究を行うための基礎能力を養う。  ②建築学の専門領域を体系的に学習させ、建築計画・歴史、建築意匠、建築計画・歴史、建築環境・設備、建築構造・防災にかかわる建築技術者としての基礎能力を養う。  ③社会人として十分な素養を持ち、他分野との連携を行うことのできる知識の修得を行う。国際的な視野を養う。  ④建築技術者としての果たすべき役割と倫理感を養う。  ⑤信州の豊かな自然と調和した建築及び建築群の計画、意匠、設計、施工、再生の方法を修得する。  ⑥大学院修士課程での高度な専門教育に結びつく建築学の応用的能力と分析的能力の基礎を養う。</p> （2）教育課程編成の特色 ①工学の基礎を十分に修得することを基本とし、さらに他分野の基礎も学ぶことにより、総合的判断のできる人材を養成する。 ②建築学の専門基礎を体系的かつ総合的に学び、広い視野に立つ建築技術者になることを目指す。自由な発想とそれを具象化する能力を涵養するために設計製図の充実を図る。 ③建築学の各専門分野の応用を学ぶ。建築計画・歴史、建築意匠、建築計画・歴史、建築環境・設備、建築構造・防災を十分に配慮した上で総合的に表現する設計能力を養う。 ④信州の伝統的建築と建築群の保存・再生方法の基礎を修得する。また信州の自然・気候に適した建築について総合的に学ぶ。 ⑤建築と人とのかかわりについて学ぶとともに技術者としての倫理感を養う。 ⑥大学院修士課程での高度な専門教育に結びつく建築学教育を実施するために卒業研究を課す。				
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法			授 業 期 間 等	
○修業年限 4年 ○卒業に必要な単位数 124単位（共通教育科目37単位、専門科目87単位） ・共通教育科目内訳 教養科目 14単位 外国語科目 8単位 健康科学科目 1単位 新入生ゼミナール科目 2単位 基礎科学科目 12単位 ・専門科目内訳 必修56単位（卒業研究10単位を含む） 選択31単位			1 学年の学期区分	2 期
			1 学期の授業期間	15 週
			1 時限の授業時間	90 分

## 教育課程等の概要

(工学部社会開発工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)														・Aの中から2単位選択必修
	環境の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	環境と社会	1・2・3・4		2		○									
	環境と技術	1・2・3・4		2		○									
	(B. 精神と文化)														
	思想と表現	1・2・3・4		2		○									
	言語と文化の諸相	1・2・3・4		2		○									
	(C. 世界と地域)														
	国際社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	日本社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	歴史と現代社会	1・2・3・4		2		○									
	(D. 生命と物質)														
	人間の生と行動	1・2・3・4		2		○									
	動物と植物	1・2・3・4		2		○									
	物質の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
地球と宇宙	1・2・3・4		2		○										
(E. 知の継承と発展)															
人文・社会科学の世界	1・2・3・4		2		○										
数理の世界	1・2・3・4		2		○										
学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2		○										
小計 (15科目)	—			30		—									
基礎科目	英語	1	4			○									
	英語	2	4				○								
	小計 (2科目)	—	8				—								
	キャンパスライフと健康	1	1			○									
	小計 (1科目)	—	1				—								
	情報科目	1		2		○									
	小計 (1科目)	—		2			—								
	新入生ゼミナール	1	2				○		11	11	2	7			
	小計 (1科目)	—	2				—		11	11	2	7			
	微分積分学	1	4			○									
	線形代数学	1	2			○									
	線形代数学	2	2			○									
	物理学 (力学)	1	2			○									
	物理学 (電磁気学)	2		2		○									
	物理学実験	1		2				○							
化学	1		2		○										
化学実験	1		2				○								
生物学	1		4		○										
生物学実験	1		2				○								
地学概論	1		4		○										
地学実験	1		2				○								
小計 (12科目)	—	10	20			—									
日本語	1・2・3・4			6		○								留学生対象：14単位までを教養科目に振替可	
日本語事情	1・2・3・4			12		○									
小計 (2科目)	—			18		—									
専門科目	応用数学Ⅰ	2		2		○								建築コースは必修	
	応用数学Ⅱ	2		2		○									
	応用数学Ⅲ	3		2		○									
	確率・統計	2		2		○								建築コースは必修	
	解析力学	2		2		○									
	基礎物理学	2	2			○			1					環境都市コース対象	
	基礎数学	2	2			○				1				環境都市コース対象	
	地域の分析と計画	2	2			○			1					環境都市コース対象	
	地域の分析と計画演習	2	1				○					1		環境都市コース対象	
	構造力学Ⅰ	2	2			○			1					環境都市コース対象	
	構造力学Ⅱ	2		2		○				1				環境都市コース対象	



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 科目	構造力学Ⅰ演習	2	1				○					1		環境都市コース対象
	基礎水理学	2	2				○			1				環境都市コース対象
	応用水理学	2		2			○			1				環境都市コース対象
	基礎水理学演習	2	1					○				1		環境都市コース対象
	土の力学	2	2				○			1				環境都市コース対象
	地盤の力学	2		2			○				1			環境都市コース対象
	土の力学演習	2	1					○					1	環境都市コース対象
	社会資本計画学	2		2			○			1				環境都市コース対象
	卒業研究	4	10					○		11	11	2	7	
	都市と建築	1	2				○			4	4	2	2	
	社会環境工学	1	2				○			7	7		5	
	土質・水環境実験	3		1					○	2	2		1	環境都市コース対象
	コンクリート・構造実験	3		1					○	1			1	環境都市コース対象
	建設構造物設計製図Ⅰ	3	1						○	1			1	環境都市コース対象
	建設構造物設計製図Ⅱ	4	1						○	1				環境都市コース対象
	構造設計学	3		2			○			1				環境都市コース対象
	地震工学	3		2			○			1				環境都市コース対象
	橋梁工学	3		2			○			1				環境都市コース対象
	河川工学	3		2			○				1			環境都市コース対象
	上下水道工学	3		2			○				1			環境都市コース対象
	地水環境工学Ⅰ	2	2				○			1				建築コースは4年次・選択
	地盤工学	3		2			○				1			環境都市コース対象
	都市・地域環境計画	2	2				○			1	1			環境都市コース対象
	空間情報学	2	2				○			1	1			環境都市コース対象
	景観分析論	3		2			○				1			環境都市コース対象
	交通計画	3		2			○				1			環境都市コース対象
	交通システム論	3		2			○				1			環境都市コース対象
	建設マネジメント	4		2			○			1	2			環境都市コース対象
	コンクリート工学Ⅰ	3		2			○			1				環境都市コース対象
	コンクリート工学Ⅱ	3		2			○			1				環境都市コース対象
	環境生態工学	4		2			○				1			環境都市コース対象
	地圏環境学	3		2			○				1			
	数値計算法	3		2			○				1			環境都市コース対象
	地水環境工学Ⅱ	3		2			○			1				環境都市コース対象
	環境保全工学	2	2				○				1			環境都市コース対象
	海岸・湖沼工学	3		2			○				1			環境都市コース対象
	防災システム論	4		2			○			2	1			環境都市コース対象
	特別演習Ⅰ	3		1				○		1	2		3	環境都市コース対象
	特別演習Ⅱ	3		1				○		1	2		3	環境都市コース対象
	総合演習	3	1					○		1	2		3	環境都市コース対象
	空間情報実習	3		1					○	1	1		1	環境都市コース対象
	地域計画	3		2			○					1		
応用統計学	3・4		2			○								
量子物理	2・3・4		2			○								
物理学実験	2・3・4		1					○						
特許実務概論	3・4		2			○								
経営工学第1	4		2			○								
経営工学第2	4		2			○								
労働安全	2・3・4		2			○								
環境マネジメントシステム	2・3・4		2			○								
環境内部監査実務	2・3・4		2			○								
学外特別実習	2・3・4		2					○					建築コースは1単位	
ボランティア特別実習第1	2・3・4		1					○					環境都市コース対象	
ボランティア特別実習第2	2・3・4		1					○					環境都市コース対象	
学外特別講義第1	2・3・4		2			○								
学外特別講義第2	2・3・4		2			○								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門 科目	学外特別講義第3	2・3・4		2		○												
	建築構造力学第1	2	2			○			1								建築コース対象	
	建築構造力学第2	2	2			○				1							建築コース対象	
	建築構造力学第1 演習	2	1				○		1	1								建築コース対象
	建築構造力学第2 演習	2	1				○		1	1								建築コース対象
	建築材料力学	2	2				○		1									建築コース対象
	鉄筋コンクリート構造	3	2				○		1	1								建築コース対象
	鋼構造	3	2				○		1									建築コース対象
	建築地盤工学	3		2			○			1								建築コース対象
	建築環境工学第1	2	2				○		1									建築コース対象
	建築環境工学第2	2	2				○			1								建築コース対象
	建築設備第1	2	2				○		1									建築コース対象
	建築設備第2	3	2				○		1									建築コース対象
	音響設計	3	2				○		1									建築コース対象
	都市環境工学	3	2				○		1									建築コース対象
	建築計画第1	2	2				○				1							建築コース対象
	建築史第1	2	2				○		1									建築コース対象
	建築保存再生論	3	2				○		1									建築コース対象
	建築設計製図第1	2	2						1	1	1	1						建築コース対象
	建築設計製図第2	2	2						1	2			1					建築コース対象
	建築設計製図第3	3	2						2	1			1					建築コース対象
	建築設計製図第4	3	2						2	1			1					建築コース対象
	木質構造	2		2			○			1								建築コース対象
	建築構造材料実験	3		1					1	2			1					建築コース対象
	防災工学	3		2			○			1								建築コース対象
	建築構造設計	3		2				○		1								建築コース対象
	振動学	3	2				○			1								建築コース対象
	建築環境工学演習	2		1				○			1			1				建築コース対象
	建築設備演習	2		1				○		1				1				建築コース対象
	都市・地域環境計測	3		2				○			1							建築コース対象
	都市環境工学演習	3		1				○		1				1				建築コース対象
	建築情報工学	2	2					○			1							建築コース対象
	建築環境工学実験	3		1					2	1				1				建築コース対象
建築デザイン論	2	2					○			1							建築コース対象	
建築計画第2	3	2					○		1								建築コース対象	
建築史第2	2	2					○				1						建築コース対象	
建築設計製図第5	4	2							1	1	1						建築コース対象	
建築法規	3・4		2				○			1							建築コース対象	
建築施工学	3・4		2				○			1							建築コース対象	
ボランティア特別実習1	2・3・4			1													建築コース対象	
ボランティア特別実習2	2・3・4			1													建築コース対象	
小計 (108科目)		—	81	119			—		11	11	2	7						
合計 (142科目)		—	102	189			—		11	11	2	7						
学位又は称号	学士 (工学)			学位又は学科の分野				工学関係										

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(工学部機械システム工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)														・Aの中から2単位選択必修
	環境の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	環境と社会	1・2・3・4		2		○									
	環境と技術	1・2・3・4		2		○									
	(B. 精神と文化)														
	思想と表現	1・2・3・4		2		○									
	言語と文化の諸相	1・2・3・4		2		○									
	(C. 世界と地域)														
	国際社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	日本社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	歴史と現代社会	1・2・3・4		2		○									
	(D. 生命と物質)														
	人間の生と行動	1・2・3・4		2		○									
	動物と植物	1・2・3・4		2		○									
	物質の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
地球と宇宙	1・2・3・4		2		○										
(E. 知の継承と発展)															
人文・社会科学の世界	1・2・3・4		2		○										
教理の世界	1・2・3・4		2		○										
学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2		○										
小計 (15科目)		—		30		—									
基礎科目	目 外国語科														
	英語	1	4			○									
	英語	2	4				○								
	小計 (2科目)	—	8			—									
	科 科健康														
	キャンパスライフと健康	1	1			○									
	小計 (1科目)	—	1			—									
	科 情報														
	情報科目	1	2			○									
	小計 (1科目)	—	2			—									
	科 ナゼ新														
	新生ゼミナール	1	4				○		2	2		2			
小計 (1科目)	—	4			—			2	2		2				
基礎科学科目	微分積分学	1	4			○									
	線形代数学	1	2			○									
	線形代数学	2	2			○									
	物理学 (力学)	1	2			○									
	物理学 (電磁気学)	1	2			○									
	物理学実験	1	2								○				
	化学	1	2			○									
	化学実験	1	2								○				
	生物学	1	2			○									
	生物学実験	1	2								○				
	地学概論	1	2			○									
	地学実験	1	2									○			
小計 (12科目)	—	12	14		—										
日本語・日本事情	科目 日本語														
	日本語	1・2・3・4		6		○									
	日本事情	1・2・3・4		12		○									
小計 (2科目)	—		18		—										
専門科目	数学演習	1	1						1						
	物理学演習	1	1						1						
	応用数学 I	2	2			○									
	応用数学 II	2	2			○									
	応用数学 III	3	2			○									
	確率・統計	3	2			○									
	応用統計学	4	2			○									
	解析力学	2	2			○				1					
	電磁気学	3	2			○				1					
	量子物理	3	2			○									
	物理学実験	2・3・4	1							1					
	工業力学演習	2	2					○		1	2		1		
	材料力学第1	1	3			○				1					
機械力学第1	2	3			○				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	熱力学第1	2	3			○			1							
	流体力学第1	2	3			○				1						
	制御工学第1	2	2			○			1							
	計測工学	2	2			○			1	1						
	工業材料学第1	2	2			○			1							
	機械工作法	2	2			○					1					
	機構学	1	2			○			1							
	機械設計	2	2			○			1							
	機械システム工学基礎製図	2	1									○				
	機械システム工学設計製図	2	1									○				
	機械システム工学創造設計	3	1									○				
	機械システム工学加工実習	2	1							1		○			2	
	機械システムプログラミング演習	2・3	1					○					2			
	機械システム工学実験	3	1							1		○				
	卒業研究	4	10						○	9	10				3	
	卒業研究ゼミナール	4	2						○	9	10				3	
	材料力学第2	3		2			○					1				
	機械力学第2	3		2			○					1				
	熱力学第2	3		2			○					1				
	流体力学第2	3		2			○					1				
	制御工学第2	3		2			○					1				
	工業材料学第2	3		2			○			1						
	弾性力学	3		2			○					1				
	塑性力学	3		2			○					1				
	計算固体力学	3		2			○			1						
	エネルギー変換工学	3		2			○					1				
	伝熱工学	3		2			○			1						
	流体機械	3		2			○					1				
	熱流体解析学	3		2			○					1				
	メカトロニクス	3		2			○			1						
	ロボット工学	3		2			○			1						
	電気電子工学基礎	2		2			○					1				
	材料加工学	3		2			○			1						
	精密工学基礎	3		2			○			1						
	精密加工システム	3		2			○			1						
	工業技術英語	3		2			○									
	制御工学演習	3		1					○	1	1				1	
	機械システム応用数学Ⅰ	3		2			○		○		2				2	
	機械システム応用数学Ⅱ	3		2			○				2				2	
	経営工学第1	4		2			○									
	経営工学第2	4		2			○									
	特許実務概論	3・4		2			○									
	労働安全	2・3・4		2			○									
	環境マネジメントシステム	2・3・4		2			○									
	環境内部監査実務	2・3・4		2			○									
	学外特別実習第1	2・3・4		1								○				
	学外特別実習第2	2・3・4		1								○				
特別課外活動第1	2・3・4		1								○					
特別課外活動第2	2・3・4		1								○					
学外特別講義第1	2・3・4		2			○										
学外特別講義第2	2・3・4		2			○										
小計 (65科目)			46	82				—	9	10			3			
合計 (99科目)			—	71	146			—	9	10			3			
学位又は称号	学士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係										

## 教育課程等の概要

(工学部電気電子工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)														・Aの中から2単位選択必修
	環境の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	環境と社会	1・2・3・4		2		○									
	環境と技術	1・2・3・4		2		○									
	(B. 精神と文化)														
	思想と表現	1・2・3・4		2		○									
	言語と文化の諸相	1・2・3・4		2		○									
	(C. 世界と地域)														
	国際社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	日本社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	歴史と現代社会	1・2・3・4		2		○									
	(D. 生命と物質)														
	人間の生と行動	1・2・3・4		2		○									
	動物と植物	1・2・3・4		2		○									
	物質の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
地球と宇宙	1・2・3・4		2		○										
(E. 知の継承と発展)															
人文・社会科学の世界	1・2・3・4		2		○										
教理の世界	1・2・3・4		2		○										
学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2		○										
小計 (15科目)		—		30		—									
基礎科目	目 外国語科														
	英語	1	4			○									
	英語	2	4				○								
	小計 (2科目)	—	8			—									
	科 科健康														
	キャンパスライフと健康	1	1			○									
	小計 (1科目)	—	1			—									
	科 情報														
	情報科目	1	2			○									
	小計 (1科目)	—	2			—									
	科 ナゼ新														
	新生ゼミナール	1	2				○		10	5		2			
小計 (1科目)	—	2			—			10	5		2				
基礎科学科目	微分積分学	1	4			○									
	線形代数学	1	2			○									
	線形代数学	2	2			○									
	物理学 (力学)	1	2			○									
	物理学 (電磁気学)	2	2			○									
	物理学実験	1	2								○				
	化学	1	2			○						○			
	化学実験	1	2									○			
	生物学	1	2			○							○		
	生物学実験	1	2										○		
	地学概論	1	2			○									
	地学実験	1	2										○		
小計 (12科目)	—	12	14		—										
日本語・日本事情	科目 日本語													留学生対象：14単位までを教養科目に振替可	
	日本語	1・2・3・4		6		○									
	日本事情	1・2・3・4		12		○									
小計 (2科目)	—		18		—										
専門科目	計算機基礎	1	2			○									
	応用数学 I	2	2			○			1	1					
	応用数学 II	2	2			○									
	応用数学 III	3	2			○									
	電気数学演習 I	1	1				○			1					
	電気数学演習 II	2	1				○		1						
	確率・統計	2	2			○					1				
	電気物理	1	2			○					1				
	解析力学	2	2			○									
	量子・統計力学	3	2			○					1				
	電気電子実験基礎	2	2			○			1						
	電気電子専門セミナー	3	2				○			1					
	電気回路第 1	2	2			○			1						
	電気回路第 2	2	2			○			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	電気回路演習	3	1				○		1						
	電子回路第1	2	2			○				1					
	電子回路第2	3	2			○				1					
	電子回路演習	3	1				○		1						
	電気磁気学第1	2	2			○				1					
	電気磁気学第2	2	2			○			1						
	電気磁気学演習	3	1				○		1						
	電気電子実験第1	2	2					○			1				
	電気電子実験第2	3	2						○			1			
	電気電子実験第3	3	2						○			1			
	電気電子計測	2	2			○									
	アセンブリ言語	2	2			○			1						
	電子物性第1	2	2			○			1						
	通信工学	2	2			○			1						
	電気電子材料第1	2	2			○			1	1					
	自動制御第1	3	2			○			1						
	電気機器第1	2	2			○			1						
	電磁波工学	3	2			○			1						
	卒業研究	4	10				○		15	11			2		
	電子デバイス第1	2		2		○			1						
	電気電子設計製図	4		2			○			1					
	電気電子特別講義Ⅰ	2・3・4		2		○			1						
	電気電子特別講義Ⅱ	2・3・4		2		○			1						
	情報理論	3		2		○			1						
	データ通信	3		2		○			1						
	デジタル信号処理	3		2		○				1					
	音響工学	3		2		○				1					
	電子物性第2	3		2		○			1						
	光電子工学	3		2		○				1					
	電気電子材料第2	3		2		○			1						
	自動制御第2	3		2		○				1					
	電気機器第2	3		2		○				1					
	電力工学第1	3		2		○			1						
	情報理論応用	4		2		○			1						
	情報通信ネットワーク	3		2		○									
	感覚工学	3		2		○				1					
	プログラミング言語	3		2		○			1						
	IC設計	3		2		○				1					
	電子デバイス第2	3		2		○			1						
	センサ工学	3		2		○				1					
	量子電子工学	3		2		○			1						
	電力工学第2	4		2		○			1						
	電気機器第3	3		2		○			1						
	磁気工学	2		2		○			1						
	電気応用	4		2		○			1						
	有線通信	3・4		2		○									
	電気電子専門英語	3		2		○			1						
	高電圧工学	4		2		○			1						
	電波法規	2・3・4		2		○									
	電気法規	4		2		○									
特許実務概論	3・4		2		○										
学外特別実習Ⅰ	2・3		2						○						
学外特別実習Ⅱ	2・3		2						○						
電気電子実験第4	3		2					1							
経営工学第1	3		2		○										
経営工学第2	3		2		○										
応用統計学	3・4		2		○										
量子物理	2・3・4		2		○										
物理学実験	2・3・4		1						○						
労働安全	2・3・4		2												
環境マネジメントシステム	2・3・4		2		○										
環境内部監査実務	2・3・4		2		○										
ボランティア特別実習第1	2・3		1						○						
ボランティア特別実習第2	2・3		1						○						
学外特別講義第1	2・3・4		2		○										

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科目	学外特別講義第2	2・3・4		2		○									
	小計(80科目)		61	99			—		15	11		2			
合計(114科目)		—	84	163			—		15	11		2			
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野				工学関係								

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(工学部物質工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	教養科目	(A. 環境と人間)														・Aの中から2単位選択必修
		環境の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
		環境と社会	1・2・3・4		2		○									
		環境と技術	1・2・3・4		2		○									
		(B. 精神と文化)														
		思想と表現	1・2・3・4		2		○									
		言語と文化の諸相	1・2・3・4		2		○									
		(C. 世界と地域)														
		国際社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
		日本社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
		歴史と現代社会	1・2・3・4		2		○									
		(D. 生命と物質)														
		人間の生と行動	1・2・3・4		2		○									
		動物と植物	1・2・3・4		2		○									
		物質の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
地球と宇宙	1・2・3・4		2		○											
(E. 知の継承と発展)																
人文・社会科学の世界	1・2・3・4		2		○											
数理の世界	1・2・3・4		2		○											
学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2		○											
小計 (15科目)		—		30			—									
基礎科目	外国語科目	英語	1	4		○										
		英語	2	4			○									
		小計 (2科目)	—	8			—									
	健康科目	キャンパスライフと健康	1	1			○									
		小計 (1科目)	—	1			—									
	情報科目	情報科目	1	2			○									
		小計 (1科目)	—	2			—									
	新入生ゼミナール	新入生ゼミナール	1	2				○		7	6					
		小計 (1科目)	—	2			—			7	6					
	基礎科学科目	微分積分学	1	4			○									
		線形代数学	1	2			○									
物理学 (力学)		1	2			○										
物理学 (電磁気学)		2	2			○										
物理学実験		1	2					○								
化学		1	2			○										
化学実験		1	2					○								
生物学		1	2			○										
生物学実験		1	2					○								
地学概論		1	2			○										
地学実験		1	2					○								
小計 (11科目)	—	10	14			—										
日本語・日本事情	日本語・日本事情	日本語	1・2・3・4		6		○									
		日本事情	1・2・3・4		12		○									
		小計 (2科目)	—	18			—									
専門科目	応用数学A	2	2			○			1							
	応用数学B	2	2			○			1							
	数学演習	2	1				○		1							
	電磁気学	2	2			○										
	コンピュータ化学演習	2	1				○									
	確率・統計	2	2		2	○										
	統計熱力学	2	2		2	○										
	物質工学入門	1	2			○			1							
	有機化学第1	2	2			○				1						
	有機化学第2	2	2			○			1							
	有機化学第3	3	2			○			1							
	有機化学第1演習	2	1				○			1						
	有機化学第2演習	2	1				○		1							
	有機化学第3演習	3	1				○		1							
	有機化学実験第1	2	1					○	1							
	有機化学実験第2	3	1					○	2							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生物化学	2	2			○			1	1					
	生物化学演習	2	1				○		1	1		1			
	生物化学実験	3	1					○	1	1		1			
	物理化学第1	2	2			○			1						
	物理化学第2	2	2			○									
	物理化学第1演習	2	1				○		1						
	物理化学第2演習	2	1				○								
	物理化学実験	2	1					○	1	2		1			
	無機化学	2	2			○			2						
	無機化学演習	2	1				○		2						
	無機化学実験	2	1					○	2			1			
	分析化学	2	2			○			1						
	分析化学演習	2	1				○		1						
	分析化学実験	2	1					○	1	2					
	化学工学第1	3	2			○			1	1					
	化学工学第1演習	3	1				○			1					
	化学技術設計演習	3	1				○		1						
	プレゼンテーション演習第1	4	1				○		1						
	プレゼンテーション演習第2	4	1				○		1						
	物質工学演習第1	4	1				○		1						
	物質工学演習第2	4	1				○		1						
	卒業研究	4	10				○		9	6	1	3			
	有機構造解析	3		2		○			1						
	応用生物化学	3		2		○				1					
	有機合成化学	3		2		○			1						
	分子設計論	3		2		○			1	1					
	有機立体化学	3		2		○			1						
	生物工学	3		2		○			1						
	物理化学第3	3		2		○			1						
	物理化学第4	3		2		○				1					
	高分子化学	3		2		○				1					
	量子化学	3		2		○									
	高分子物性学	3		2		○				1					
	機器分析	3		2		○				1					
	表面分析	3		2		○			1						
	無機材料化学第1	3		2		○			1						
	無機材料化学第2	3		2		○			1						
	無機材料物性	4		2		○			2						
	化学工学第2	3		2		○				1					
	物質工学特別講義第1	3		1		○									
	物質工学特別講義第2	3		1		○									
	物質技術論第1	3		1		○									
	物質技術論第2	3		1		○									
	化学英語	2		2		○			1						
	環境科学	3		2		○									
	環境光化学	3		2		○									
	環境触媒化学	3		2		○									
	生物機能学	3		2		○									
	環境材料機能学	3		2		○									
	応用統計学	3・4		2		○									
	量子物理	2・3・4		2		○									
	物理学実験	2・3・4		1				○							
	経営工学第1	4		2		○									
	経営工学第2	4		2		○									
	ボランティア特別実習第1	2・3・4		1				○							
	ボランティア特別実習第2	2・3・4		1				○							
	特許実務概論	3・4		2		○									
	労働安全	2・3・4		2		○									
	環境マネジメントシステム	2・3・4		2		○									
	環境内部監査実務	2・3・4		2		○									
	学外特別実習	2・3・4		1				○							
	学外特別講義第1	2・3・4		2		○									
	学外特別講義第2	2・3・4		2		○									
	小計(79科目)			58	78			—		9	6	1	3		
	合計(112科目)		—	79	142			—		9	6	1	3		
	学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野				工学関係							

## 教育課程等の概要

(工学部情報工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)														・Aの中から2単位選択必修
	環境の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	環境と社会	1・2・3・4		2		○									
	環境と技術	1・2・3・4		2		○									
	(B. 精神と文化)														
	思想と表現	1・2・3・4		2		○									
	言語と文化の諸相	1・2・3・4		2		○									
	(C. 世界と地域)														
	国際社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	日本社会の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
	歴史と現代社会	1・2・3・4		2		○									
	(D. 生命と物質)														
	人間の生と行動	1・2・3・4		2		○									
	動物と植物	1・2・3・4		2		○									
	物質の構造と動態	1・2・3・4		2		○									
地球と宇宙	1・2・3・4		2		○										
(E. 知の継承と発展)															
人文・社会科学の世界	1・2・3・4		2		○										
教理の世界	1・2・3・4		2		○										
学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2		○										
小計 (15科目)		—		30			—								
基礎科目	目外国語科														
	英語	1	4			○									
	英語	2	4				○								
	小計 (2科目)	—	8				—								
	科科健康														
	キャンパスライフと健康	1	1			○									
	小計 (1科目)	—	1				—								
	科情報														
	情報科目	1	2			○									
	小計 (1科目)	—	2				—								
	科ナゼ新														
目ル生	1	4				○		5	8		5				
小計 (1科目)	—	4				—		5	8		5				
基礎科学科目	微分積分学	1		2		○									
	線形代数学	1		2		○									
	物理学 (力学)	1		2		○									
	物理学 (電磁気学)	1		2		○									
	物理学実験	1		2				○							
	化学	1		4		○									
	化学実験	1		2							○				
	生物学	1		4		○						○			
	生物学実験	1		2								○			
	地学概論	1		4		○									
	地学実験	1		2								○			
小計 (11科目)	—	0	28			—									
日本語科目	日本語	1・2・3・4		6		○									留学生対象：14単位までを教養科目に振替可
	日本事情	1・2・3・4		12		○									
	小計 (2科目)	—		18			—								
専門科目	理数演習 1	1		1			○		1						
	理数演習 2	1		1			○								
	プログラミング言語 1	1		3		○				1					
	論理回路 1	2		3		○				1					
	回路理論	2		3		○				1					
	オートマトンと言語理論	2		3		○				1					
	情報数学	2		3		○				1					
	応用数学 I	2		3		○				1					
	技術発表	2	1				○			1					
	コンピュータアーキテクチャ	2		3		○				1					
	信号処理	2		3		○					1				
	アルゴリズムとデータ構造	2		3		○					1				
	プログラミング言語 2	2		3		○					1				
	教理論理	2		3		○				1					
	確率・統計	2		3		○				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	プログラミング言語論	3		3		○			1						
	ソフトウェア工学	3		3		○				1					
	コンパイラ	3		3		○			1						
	データベース	3		3		○			1						
	人工知能	4		3		○			1						
	コンピュータグラフィックス	3		3		○					1				
	画像処理	3		3		○			1						
	ネットワークコンピューティング	3		3		○					1				
	オペレーティングシステム	3		3		○					1				
	コンピュータネットワーク	3		3		○			1						
	ヒューマンコンピュータインタラクション	4		3		○			1						
	論理回路2	3		3		○					1				
	コンピュータ電子回路	3		3		○					1				
	マイクロコンピュータ	3		3		○					1				
	コンピュータ通信	3		3		○					1				
	マルチメディア表現論	4		3		○			1		1				
	コンピュータデバイス	4		3		○					1				
	デザインプロジェクト	3	4			○					1				
	情報専門英語	3		2		○			1						
	経営工学第1	4		2		○									
	経営工学第2	4		2		○									
	情報職業論	4		2		○			1						
	卒業研究	4	10	2			○	○	11	13			7		
	応用数学Ⅱ	2		2		○									
	レジデントシップ第1	1・2・3・4		1			○	○							
	レジデントシップ第2	1・2・3・4		1			○	○							
	応用統計学	3・4		2		○									
	量子物理	2・3・4		2		○									
	物理学実験	2・3・4		1				○							
	情報創造プロジェクト第1	1・2・3		2			○	○							
	情報創造プロジェクト第2	1・2・3		2			○	○							
	情報創造プロジェクト第3	1・2・3		2			○	○							
	情報創造プロジェクト第4	1・2・3		2			○	○							
	情報創造プロジェクト第5	1・2・3		2			○	○							
	共同研究プロジェクト第1	1・2・3		1			○	○							
	共同研究プロジェクト第2	1・2・3		1			○	○							
	共同研究プロジェクト第3	1・2・3		1			○	○							
	共同研究プロジェクト第4	1・2・3		1			○	○							
	学外特別実習	1・2・3・4		2				○							
	労働安全	2・3・4		2		○									
	環境マネジメントシステム	2・3・4		2		○									
	環境内部監査実務	2・3・4		2		○									
	学外研修プロジェクト第1	1・2・3・4		2				○							
	学外研修プロジェクト第2	1・2・3・4		2				○							
	学外研修プロジェクト第3	1・2・3・4		2				○							
	学外研修プロジェクト第4	1・2・3・4		2				○							
ボランティア特別実習第1	1・2・3・4		1				○								
ボランティア特別実習第2	1・2・3・4		1				○								
学外特別講義第1	2・3・4		2		○										
学外特別講義第2	2・3・4		2		○										
学外特別講義第3	2・3・4		2		○										
小計 (66科目)			15	146			—	11	13			7			
合計 (99科目)		—	24	228			—	11	13			7			
学位又は称号	学士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係									

## 教育課程等の概要

(工学部環境機能工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	教養科目 (A. 環境と人間) 環境の構造と動態 環境と社会 環境と技術 (B. 精神と文化) 思想と表現 言語と文化の諸相 (C. 世界と地域) 国際社会の構造と動態 日本社会の構造と動態 歴史と現代社会 (D. 生命と物質) 人間の生と行動 動物と植物 物質の構造と動態 地球と宇宙 (E. 知の継承と発展) 人文・社会科学の世界 数理の世界 学際と先端の科学・技術	1・2・3・4		2			○								・Aの中から2単位選択必修
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
		1・2・3・4		2			○								
			小計 (15科目)	—		30			—						
基礎科目	外国語科目	英語	1	4			○								
		英語	2	4				○							
		小計 (2科目)	—	8				—							
	健康科目	キャンパスライフと健康	1	1			○								
		小計 (1科目)	—	1				—							
	情報科目	情報科目	1	2			○								
		小計 (1科目)	—	2				—							
	新入生ゼミナール	新入生ゼミナール	1	2				○		6	5				
		小計 (1科目)	—	2				—		6	5				
	基礎科学科目	微分積分学	1	4			○								
		線形代数学	1	2			○								
物理学 (力学)		1	2			○									
物理学 (電磁気学)		1	2			○									
物理学実験		1	2					○							
化学		1	4			○									
化学実験		1	2					○							
生物学		1	2			○									
生物学実験		1	2					○							
地学概論		1	2			○									
地学実験	1	2					○								
	小計 (11科目)	—	12	14			—								
日本語・日本語事情	日本語・日本語事情	日本語	1・2・3・4		6			○						留学生対象：14単位までの教養科目に振替可	
		日本語事情	1・2・3・4		12			○							
		小計 (2科目)	—	18				—							
専門科目	応用数学A	2	2			○									
	電磁気学	2	2			○									
	線形代数学	2	2			○									
	応用数学B	2	2			○									
	解析力学	2	2			○									
	確率・統計	2	2			○									
	応用統計学	3・4	2			○									
	量子物理	2・3・4	2			○									
	物理学実験	2・3・4	1					○							
	環境機能工学入門	1	2			○			1						
	材料力学1	2	2			○			1						
	材料力学2	2	2			○				1					
	流体力学1	2	2			○			1						
	流体力学2	2	2			○			1						
エネルギー工学	3	2			○				1						
機械制御学	2	2			○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	環境情報処理学	2	2			○				1					
	地球資源論	2	2			○									
	環境科学	2	2			○				1					
	環境材料学	2	2			○				1					
	環境分析化学	2	2			○				1					
	基礎生命科学	3	2			○				1					
	有機化学1	2	2			○				1					
	有機化学2	2	2			○				1					
	物理化学1	2	2			○				1					
	物理化学2	2	2			○				1					
	物理化学3	3	2			○				1					
	無機化学1	2	2			○				1					
	無機化学2	2	2			○				1					
	環境機能工学基礎製図	2	1						○				1		
	環境調和型物づくり実習	2	1						○	1	1		1		
	環境機能工学実験1	3	1						○	1			1		
	環境機能工学実験2	3	1						○	1	1		1		
	環境機能工学実験3	3	1						○	2	2		1		
	環境機能工学実習	3	1						○	2	2		1		
	環境機能工学演習1	4	1					○		6	5		3	1	
	環境機能工学演習2	4	1					○		6	5		3	1	
	環境機能工学演習3	4	1					○		6	5		3	1	
	環境機能工学演習4	4	1					○		6	5		3	1	
	卒業研究	4	10					○		6	5		3	1	
	信頼性工学	3			2		○								
	光工学	3			2		○			1					
	環境シミュレーション工学	3			2		○				1				
	機器設計学	2			2		○			1					
	環境化学計測	3			2		○				1				
	環境光化学	3			2		○						1		
	環境触媒化学	3			2		○			1					
	生物機能学	3			2		○				1				
	化学反応工学	3			2		○			1					
	無機合成化学	3			2		○			1					
	環境材料機能学	3			2		○				1				
	技術英語	3			2		○								
	環境マネジメントシステム	2・3・4			2		○								
	環境マネジメントインターンシップ	2・3・4			2				○	1					
	植物系材料	3			2		○			1					
	先端環境技術	3		2			○			1					
	自然エネルギー利用学	3			1		○			1					
	金属材料	3			2		○				1				
	Chemistry	3			2		○				1				
	地域環境演習	2・3・4			1			○		1					
	リサイクル	3			2		○			1					
	特別講義1	2・3・4			1		○								
	特別講義2	2・3・4			1		○								
	生物化学	3			2		○								
	応用生物化学	4			2		○								
	生物工学	4			2		○								
	高分子化学	3			2		○								
	化学工学第1	4			2		○				1				
	量子化学	4			2		○			1					
	経営工学第1	4			2		○								
	経営工学第2	4			2		○								
	学外特別実習	2・3・4			1				○						
	特許実務概論	3・4			2		○								
	ボランティア特別実習第1	2・3・4			1				○						
	ボランティア特別実習第2	2・3・4			1				○						
	ライフサイクルアセスメント	3			2		○								
環境内部監査実務	2・3・4			2		○			1						
労働安全	2・3・4			2		○									
学外特別講義第1	2・3・4			2		○									
学外特別講義第2	2・3・4			2		○									
小計(80科目)			66	84				—	6	5		3	1		
合計(113科目)		—	89	148				—	6	5		3	1		
学位又は称号	学士(工学)														
学位又は学科の分野															
工学関係															